

義肢評価質問票使用の手引き

義肢評価質問票 (PEQ; Prosthesis Evaluation Questionnaire) の採点と分析のための手引き

PEQ は 9 個の妥当性を検証された下位尺度からなり、それぞれの下位尺度は複数の質問を含み、さらに個別の質問が加えられている。これらの下位尺度は、内的整合性、時間的安定性について妥当性が検証されており、1 個の単位として採点される。これらの下位尺度は互いに独立ではない。それゆえこの質問票を使用する人の研究に必要な下位尺度のみを使うことは理にかなったことである。PEQ は切断レベル、切断後経過期間、切断理由等の通常の背景的な質問は含んでいない。

PEQ のほとんどの質問は VAS (訳注: Visual Analog Scale) 形式を取っている。それぞれの VAS は左側から回答者が印をしたところまでの距離を mm (ミリメートル) で表した連続数値データとなる。それぞれの線の長さは 100mm であり、常に左側から測定される。質問の言葉は、数値が高いほど (右に寄るほど) 陽性の反応となるように、なっている。複写をするときには、線が拡大、縮小しないように注意していただきたい。

この手引きにはすべての質問に対するコード化の説明が記載されている。質問の中には回答者にとって答える必要のない場合にチェックする付加的な質問がついたものがあり、その場合には (訳注: その質問に対する VAS は無回答であるが、チェックの有無によって)、VAS の値は "100" または "nr (no response; 無回答)" とコード化される。それぞれの質問の説明を参照されたい。家族に関する質問では、その回答 (訳注: たとえば、母、父など) はコード化する必要はない。回答者のチェックの入っていない項目はすべて "nr" とされ、欠損として扱われる。

下位尺度の計算をする際には、それぞれの下位尺度を構成するすべての質問 (表 1) で回答者が答えたものの平均値を計算する。回答者が 6 項目中 5 項目しか答えなかったような場合には、平均値を計算するときには 5 で除することを忘れてはならない。下位尺度の計算は少なくともその下位尺度に含まれる半数以上の質問にたいし、"nr" 以外の回答がなければならぬ (もしもその構成質問数が奇数である場合には、切り上げ計算をする)。

質問紙は、グループ化、または同じような質問が 1 ヶ所に集められており、1 度に同じような質問が見渡せるようになっている。異なる下位尺度に含まれるものが同一部分に集められている。質問紙使用者は、それぞれの下位尺度を計算する際に正しい質問を使うよう注意せねばならない。PEQ にはその他下位尺度計算には用いられない質問が含まれている。これらの質問項目は「満足」、「疼痛」、「移動」、「義足の手入れ」、「自尊意識」、その他重

要な質問である。一覧表(表 2)にあるこれらはすべて個別の質問である。

PEQ を使う計画があったり、何か改善に向けて提案があったら、知らせていただきたい。PEQ を使用するに当たって生じたあらゆる質問に関し、できる限り答えるつもりである。info@prs-research.org に e-mail を送るか、米国(206)325-3607 に Fax を送っていただきたい(訳注：日本語版訳者；飛松好子)。PEQ は無料で使用できるが、すべては Prosthetics Research Study に著作権がある。PEQ を部分的に使う場合にも、Prosthetics Research Study に対する適切な謝辞が必要である(訳注：著者との個人的通信によれば、引用文献に原著を掲げるという意味である。日本語版を使う場合には、訳者に直接断る必要はなく、原著とこの論文を引用文献に掲げ、論文中の謝辞は不要である)。以上。

PEQ の開発は米国退役軍人事業の援助を受けた。

訳者注

和式の生活の特性を反映するために畳からの立ち上がりと和式トイレの使用を加えてある(K-2、L-2)。幻肢痛に関する質問において、原文にはない選択肢 h (私には幻肢はない)を加えてある(2A、2D)。

追記(2021 年 7 月)

- 学会発表・論文等の調査報告には以下の二つの文献を必ず引用してください。
- 1. Legro, MW. Reiber, GD. Smith, DG. del Aguila, M. Larsen, J. Boone, D. Prosthesis Evaluation Questionnaire for Persons With Lower Limb Amputations: Assessing Prosthesis-Related Quality of Life. Arch Phys Med Rehabil. 79(8), p.931-938, 1998.
- 2. 飛松好子, 岩谷力, 田村徹, 小池雅俊, 岡本晋, 高橋功二, 山崎伸也, 三田友記, 佐々木一彦. 下肢切断者 QOL 尺度, PEQ(義足評価質問票)日本語版(PEQJ)の信頼性と妥当性. 総合リハビリテーション. 32(1), p.77-82, 2004.
- 調査用紙は国立障害者リハビリテーションセンター研究所義肢装具技術研究部のホームページに掲載しています。

<http://www.rehab.go.jp/ri/departj/hosougu/R-and-D/PEQ-J/>

PEQの質問のコード表

項目名	質問項目	所属下位尺度等	採点法
1、義肢に関する質問	A	満足(ST)	0-100
	B	使い勝手(UT)	0-100
	C	使い勝手(UT)	0-100
	D	使い勝手(UT)	0-100
	E	使い勝手(UT)	0-100
	F	使い勝手(UT)	0-100
	G	使い勝手(UT)	0-100
	H	使い勝手(UT)	0-100
	I	使い勝手(UT)	0-100
	J	外見(AP)	0-100
	K	音(SO)	0-100
	L	音(SO)	0-100、チェックがある場合には100
	M	外見(AP)	0-100
	N	外見(AP)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
	O	外見(AP)	0-100
	P	外見(AP)	0-100
	Q	対側の状態(RL)	0-100
	R	対側の状態(RL)	0-100
	S	対側の状態(RL)	0-100
	T	対側の状態(RL)	0-100、チェックがある場合には100
	U	対側の状態(RL)	0-100、チェックがある場合には100
	V	対側の状態(RL)	0-100、チェックがある場合には100
2、感覚に関する質問	A	疼痛(PN)	a=0、b=1、c=2、d=3、e=4、f=5、g=6、h=0
	B	疼痛(PN)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
	C	疼痛(PN)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
	D	疼痛(PN)	a=0、b=1、c=2、d=3、e=4、f=5、g=6、h=0
	E	疼痛(PN)	a=0、b=1、c=2、d=3、e=4、f=5、g=6
	F	疼痛(PN)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
	G	疼痛(PN)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
	H	疼痛(PN)	a=0、b=1、c=2、d=3、e=4、f=5、g=6
	I	疼痛(PN)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
	J	疼痛(PN)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
	K	疼痛(PN)	a=0、b=1、c=2、d=3、e=4、f=5、g=6
	L	疼痛(PN)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
	M	疼痛(PN)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
	N	疼痛(PN)	a=0、b=1、c=2、d=3、e=4、f=5、g=6
	O	疼痛(PN)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
	P	疼痛(PN)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
3、義足使用における社会的、情動的観点	A	周囲の反応(PR)	0-100
	B	挫折感(FR)	0-100
	C	挫折感(FR)	0-100、チェックがある場合には100
	D	周囲の反応(PR)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
	E	周囲の反応(PR)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
	F		採点せず。
	G	周囲の反応(PR)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
	H	周囲の反応(PR)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
	I	社会的重荷(SB)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
	J	社会的重荷(SB)	0-100
	K	社会的重荷(SB)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
4、移動能力	A	歩行(AM)	0-100
	B	歩行(AM)	0-100
	C	歩行(AM)	0-100
	D	歩行(AM)	0-100
	E	歩行(AM)	0-100
	F	歩行(AM)	0-100
	G	歩行(AM)	0-100
	H	歩行(AM)	0-100
	I	移動(TR)	0-100
	J	移動(TR)	0-100
	K	移動(TR)	0-100
	K-2	移動(TR)	0-100、訳注: 日本版のみ
	L	移動(TR)	0-100
	L-2	移動(TR)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損) 訳注: 日本版のみ
	M	移動(TR)	0-100
5、生活における満足	A	満足(ST)	0-100
	B	満足(ST)	0-100
	C	生活の満足(WB)	0-100
	D	生活の満足(WB)	0-100
	E	リハビリテーション(RH)	0-100
	F	リハビリテーション(RH)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
	G	リハビリテーション(RH)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
6、義足に問題があるときのADL能力	A	自尊意識(SE)	0-100
	B	自尊意識(SE)	0-100
	C	自尊意識(SE)	0-100
7、義足の重要性	A	その他(OT)	0-100
	B	その他(OT)	0-100
	C	その他(OT)	0-100
	D	その他(OT)	0-100
	E	その他(OT)	0-100、チェックがある場合には"nr"(欠損)
	F	その他(OT)	0-100
	G	その他(OT)	0-100
	H	その他(OT)	0-100
	I	その他(OT)	0-100
	J	その他(OT)	0-100

表1 PEQ下位尺度		
妥当性の証明された下位尺度	構成する質問の番号	質問数
歩行(AM)	4A、4B、4C、4D、4E、4F、4G、4H	8
外見(AP)	1J、1M、1N、1O、1P	5
挫折感(FR)	3B、3C	2
周囲の反応(PR)	3A、3D、3E、3G、3H	5
対側の状態(RL)	1Q、1R、1S、1T、1U、1V	6
社会的重荷(SB)	3I、3J、3K	3
音(SO)	1K、1L	2
使い勝手(UT)	1B、1C、1D、1E、1F、1H、1I	7
生活の満足(WB)	5C、5D	2
	注： 数字；項目名 アルファベット；質問項目	
その他		
満足(ST)	1A,5A,5B	3
移動(TR)	4I,4J,4K,4L,4M	5
疼痛(PN)	2B,2C,2F,2G,2I,2J,2L,2M,2O,2P	10
リハビリテーション(RH)	5E,5F,5G	3
自尊意識(SE)	6A,6B,6C	3
その他(OT)	7A-J	10